

【第3回】甲斐市選挙に関するアンケート実施結果

- (1) 実施期間 令和3年8月13日(金)～8月23日(日) 10日間実施
(2) 対象者 18歳以上の甲斐市民(LINEユーザー)
(3) 設問数 全10問
(4) 回答数 全3,327件
うち、有効回答数 3,292件、無効回答数 35件

(5) 設問結果

Q1 あなたが今お住まいの場所の郵便番号をお答えください。

地区	回答数	%
竜王地区	1,749	52.6%
敷島地区	839	25.2%
双葉地区	704	21.1%
無効郵便番号	35	1.1%
	3,327	100%

◎アンケート回答数全3,327人のうち、有効件数3,292人、無効件数35人

Q2 あなたの年齢は？

年齢	人数	%
18歳～19歳	44	1.3%
20歳代	264	8.0%
30歳代	709	21.6%
40歳代	873	26.5%
50歳代	731	22.2%
60歳代	463	14.1%
70歳以上	208	6.3%
	3,292	100%

Q3 あなたの性別は？

性別	人数	%
男性	1,146	34.8%
女性	2,129	64.7%
その他	17	0.5%
	3,292	100%

◎年齢は、30歳～50歳代の回答率が高く、性別は、女性の回答が多かった。

Q 4 あなたは、昨年9月に行われた甲斐市長選挙は投票に行きましたか。

回答選択肢	人数	%
当選してほしい候補者がいたから行った	487	14.8%
市民として選挙に行くことが義務だと思ったから行った	1,668	50.7%
周りの人が行くから一緒に行った	59	1.8%
周りの人に行くように言われたから行った	22	0.6%
特に理由はないが行った	194	5.9%
行かなかった	843	25.6%
まだ18歳になっていなかったため行かなかった	19	0.6%

3,292 100%

◎「市民として選挙に行くことが義務だと思ったから行った」の回答が非常に多かった。

Q 5 昨年の甲斐市長選挙に行かれた方にお聞きします。投票所について、どう思いましたか。(複数回答可)

回答選択肢	人数	%
期日前投票所が少ない	216	8.9%
当日の投票所の場所が遠い	76	3.1%
当日の投票所が混雑していて待たされた	34	1.4%
記載台や投票箱の配置が分かりにくかった	32	1.3%
特に何も思わなかった	2,108	86.7%

2,430

◎「特に何も思わなかった」の回答が非常に多かった。

Q 6 ささまざまな選挙において、甲斐市の投票率は低い傾向にあります。甲斐市の投票率が他市町村に比べて低いことを、あなたはどのように思いますか。

回答選択肢	人数	%
特に何も思わない	386	11.7%
仕方がないと思う	551	16.7%
投票率を向上させる必要があると思う	2,194	66.7%
低くても問題ないと思う	85	2.6%
その他	76	2.3%

3,292 100%

◎「投票率を向上させる必要があると思う」の回答が非常に多かった。

Q7 さまざまな選挙において、甲斐市の投票率が他市町村に比べて低いのは、なぜだと思いますか。（複数回答可）

回答選択肢	人数	%
選挙の周知が足りない	791	24.0%
投票所の場所が分かりにくい	209	6.3%
投票所へ行く交通手段がない人が多い	342	10.4%
政治に興味がない人が多い	2,397	72.8%
仕事や家事で忙しい人が多い	1,116	33.9%
その他	363	11.0%

3,292

◎「政治に興味がない人が多い」の回答が非常に多く、次いで「仕事や家事で忙しい人が多い」の回答が多かった。

Q8 前問で「その他」と答えた方は、差し支えなければ、なぜ投票率が低いと思うかご記入ください。わからない方は「なし」と書いて次へお進みください。

●主な内容を抜粋（自由記述した人 300人）

- 政治が生活にとって身近なものと感じないことが多い。もっと住民の生活に落とし込める政策を候補者は訴えるべき。
- 現状に満足してる方も多から。
- 投票したい候補者、政党がないため、選挙に行かねばとは思っていても行きそびれてしまう。市長選挙に限らず、国政選挙などでも同じ。
- 県外に下宿している学生や単身赴任の人、寝たきり、入院中のかたがたの投票手段がないあるいは周知されていない。
- 投票したところで、何も変わらない。
- 不投票は、若年層に多いと考える中、電子投票を取り入れたら投票率は上がると思う。候補者の実績と、公約も、分かりやすく投票サイトに載せて選び易くするのもいいと思います。
- 投票所へ出向くという事自体時間を取るの、共働きや子育て支援世帯など忙しさがあり、投票に行きにくいのではないか。私の周りでは、忙しくて行けなかったという人が多い印象。特に、仕事フルタイム＋子育てをしている人が多いです。
- 例えば選挙に行ったら LINE ポイントをくれたりとか商品券をくれたりしたらもっと人が増えると思います。
- 投票所の公民館が狭い道でしか行けず、行きにくい所にある。誰でも行きやすい場所にすべきと思います。
- 政治が遠いところにあると感じている市民が多いです。自分の一票の重みを理解していない。とても身近にありくらしに密着していることをもっと知りたいと思います。
- 争点が生活に直結していないと感じる人が多いのではないか？東京、神奈川、茨城、

栃木、千葉、三重と転勤してきたけど、山梨は裕福と感じている人が多いと思う。選挙に関心を持たせないと、更なる発展が無くなりそうです。

- 立候補している方々は、向上心のある方だと思うが、その思いとかが、魅力的に伝わっていない。
- 行政のサービスが良いので、選挙にいこうと考えていない。
- 期日前投票をしやすいように場所を増やしたり投票時間を遅くまで出来る様にしたらいいと思います。
- 他の市町村と比べ、現状である程度満足している人が多いのでは？
- 若者の投票率が低いのは若者が魅力を感じるマニフェストがないからだと思う。若者、特に子育てをしていない 20 代などにとってはメリットがないので、誰が当選しても同じに感じる。だから投票に行かないのだと思う。
- 投票所までの道が狭くアクセスしづらい。投票後に優待サービスを行なっているところを見かけない。
- 期日前投票所など少なく、仕事帰りに寄りづらい。
- 車で投票所に向かう人が多く、駐車場が狭い。車のすれ違いが難しい道の先にある投票所は運転がこわくて行きにくい。近くの小学校の校庭も、投票所の駐車場として開放してほしい。
- 市政がある程度安定していて市民に強い不満が無い。
- 外出の不自由な高齢者は、思っているより多いと思う。
- 障害児を抱えているからなかなかいけない。ネットでもできたら、本当に助かる。

Q9 甲斐市の投票率は、どうすれば良くなると思いますか。(複数回答可)

回答選択肢	人数	%
テレビCMによる周知・啓発を行う	712	21.6%
SNSによる周知・啓発を行う	1,358	41.3%
街頭で周知・啓発活動を行う	914	27.8%
投票所の場所を増やす	973	29.6%
その他	640	19.4%
何をしても良くなるとは思わない	545	16.6%

3,292

◎「SNSによる周知・啓発を行う」の回答が非常に多く、その他「投票所の場所を増やす」「街頭で周知・啓発活動を行う」「テレビCMによる周知・啓発を行う」の回答が多かった。

Q10 前問で「その他」と答えた方は、差し支えなければ、どうすれば甲斐市の投票率が良くなるかのご意見をお聞かせください。わからない方は「なし」と書いて次へお進みください。

●主な内容を抜粋（自由記述した人 547人）

- ネットでの投票が出来れば100%投票したいが、あの独特の監視されている空気が嫌で行きにくい。どうか投票しやすい環境を検討してほしい。
- 小さい時からの政治参加意識の醸成
- 甲斐市民が、勤めて居る会社において選挙投票に行くように促してもらおう。
- 個々の意識の問題なのでわかりませんが、投票率の悪い年代と同年代の人の意見の方が聞きやすいかもしれません。いくらテレビSNS等で「投票に行きましょう」と言っても、行かない人は行きませんし聞かないです。
- 義務教育の間に、政治に参加する手段、自分の思いを政治に反映してもらおう手段が選挙ということをよく教えてあげてほしい。
- どの年代の投票率が低いのか調査して、その結果からアプローチの方法を検討すると良いのではないかと考える。
- 期日前投票ができる施設を増やす。
- ネット投票の整備を期待したい。
- 病気、下宿、単身赴任など様々な理由で投票所に行きたくても行けない人の投票方法を周知させる。
- 市で各世代の人を集めて座談会みたいなものを開催。情報発信、啓蒙活動は一方通行で効果薄い。参加型を回数繰り返す。政治に関わることを大切と言うことを広げていく。
- 投票所でやはたいぬくんのシャーペンを配り、そのまま使用して投票する。おまけがあれば来る人も増えると思う。
- スマホやパソコンから投票できたり、郵便投票できたりすれば多少は投票率も上がると思いますが、これをするにはまだまだ問題山積みだと思うので直ぐには無理だと思いますけど…
- 周知させても興味が無ければ投票に行く人は増えないと思う。SNSや動画配信等で注目されるようなコンテンツの必要性を感じる。
- 甲斐市に限ったことではないかもしれませんが、若い世代に対して投票を促す取り組みが必要だと思います。SNSに加えてショッピングセンターでの案内など若い世代が集まる施設での呼びかけがあるとよいと思いました。また小中学校の教育から、選挙の必要性を訴えていく必要があると思います。
- 広報など、紙の媒体で周知をする。期日前投票所を増やす。若い世代に選挙の大切さを認識してもらおう。
- 郵便やネット投票ができれば投票率が上がるのではないかと思います。
- 投票所を分かりやすい所に。投票所までの道が狭過ぎ行きたくないと言う人も多い(車で)。
- 現実的には、行政が広報・告知しても伝わっていない。たぶん目にしたり耳にしたりしてるはずだが、一人ひとりの意識の中に入っていない。選挙の存在意義そのものが理解されない時代になってしまったと思います。そこをどう変革するか、という視点が必要だと思います。有名人を起用するとか、SNSを活用するとか、当然必要だとは思いますが、これからは、選挙そのものの意義について、市民に即してイメー

ジがつきやすい広報活動をしていってほしいと思います。

- 独自に変えられないと、分かってますが、期日前投票を、投票所以外でも出来るようにならないかなあ。
- コンビニとかで出来たら確実。子どもも小さいと夜も行けなかったり、色々重なって行けない年もあった。
- 甲斐市だけでは改善できませんが、ネットでも投票数できるようになればもう少し気軽にできると思います。仕事を持っていると、わざわざ投票所まで出向くことが面倒に感じるのです。
- 不在者投票が、もっと活用出来れば、仕事や小さな子供が居る若い世代の人の票が、獲得出来るのかも知れません。
- スーパー・コンビニなど、日常的に利用する場所に投票所があれば、行きやすいし便利だと思います。
- 選挙をしていることを知らない人が多い。費用はかかるが市民に周知するための通知をすれば選挙をしていることがわかると思う。あとは可能かどうかは別として、オンラインを活用できればいいと思う。
- 若い人に政治に関心がない、選挙に行っても変わらないという思いがあると思う。甲斐市だけで何か策を練ってどうにかなるのか、と思う。日本全体として政治に関心を持つ教育、政治のことを話題に出来る社会をつくる必要があると思う。
- 投票率の低さは政治的不満の低さのため特に高める必要はない。
- うるさいかもしれないが朝「本日から〇〇日まで選挙投票日です」などの放送してもいいと思う。
- 高齢者の投票率を保持するならネットを利用しない方が多いため、紙ベースの広告やテレビコマーシャル、街頭演説が有効だと思います。
若者、壮年層の投票率を上げるには、期日前投票を含め選挙自体の認知を広げなければならぬと思います。できるなら、投票日、投票所を増やす方が忙しい若い世代に有効だと思います。投票所を増やす事は高齢者、若者ともに有効です。高齢者は足腰が悪かったり、体調が悪い方が多いと思います。また高齢者施設、病院等で介護を受ける方にとって、福祉的な観点から投票する事に繋がるからです。十八歳に選挙年齢が引き下がった今、若者が多くいると思われる大型ショッピングモール、学校、学習塾の近くに投票所を設置すると良いかもしれません。通勤者の多い駅も有効かと思います。選挙期間中、駅で選挙の広告活動をするのは有効だと思います。また、各会社企業、学校、大学等で選挙の告知をお願いして、行政だけでない選挙参加を目指すべきだと思います。
- 18 歳以上投票可能となったので、高校生や専門学生にもっとアピールしても良いと思う。
- 罰則または税金の優遇。
- 甲斐市だけではなく、選挙は権利であり、一票により変わることもあることを、学校などを通して教育して行く必要があると思う。
- お金を掛けずに周知させる方法を考える、例へば市民放送の回数を増やすなど？